

野口賞 2氏1団体に贈呈



「郷土の礎」顕彰

第38回野口賞（主催・山梨

日日新聞社、山梨放送、山梨

文化会館）の贈呈式が3日、

甲府・山日YBSホールで行

われ、郷土研究、体育・スポ

ーツ、芸術・文化の各部門で

顕著な業績を挙げた2個人と

1団体をたたえた。

郷土研究部門は、「近代日

本の農村社会と農地問題」を

著し、昭和初期に県内で多発

した「小作争議」の歴史的意

義を考察した島袋善弘さんに

贈られた。体育・スポーツ部

野口賞を受賞した（前列左から）島袋善弘さん、山梨学院高男子駅伝部の箱崎孝久前監督と西山令前主将、保坂紀夫さん。後列は同部の部員

山府・山日YBS本社

門は、昨年12月に京都市内で開かれた第64回全国高校駅伝競走大会で、県勢初の優勝を果たした山梨学院高男子駅伝部が選ばれた。

芸術・文化部門は、竹アートの第一人者として、独創的で芸術性の高い竹造形作品を世界へ発信している保坂紀夫さんに贈られた。

野口英一山日YBSグループ代表が賞状と副賞を贈った。野口代表は「今後ますます精進され、それぞれの分野の発展、振興に寄与してくればうれしい」と激励。阿部邦彦県教育長が横内正明知事の祝辞を代読し、「受賞者の活躍は県民に夢と希望を与え、明日の山梨を担う人づくりの礎になると確信している」と祝福した。

〈文・五味優子、写真・広瀬徹〉

受賞者の喜びの声 22面